

様式第1号の2（第5条の2関係）

土砂災害特別警戒区域に係る対策工事状況報告書

年 月 日

三次市長（建築主事）  
指定確認検査機関 様

住所  
工事監理者 氏名  
( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号  
電話 ( ) 番

次のとおり、建築基準法施行令第80条の3に係る対策状況を報告します。  
なお、この設計内容のとおり、工事監理者として適正に工事監理を行っています。

項 目	記 入 欄 (該当する□をチェックし、必要事項を記入すること。)			
1 土砂災害特別警戒区域の土砂災害の種類	<input type="checkbox"/> 急傾斜地の崩壊 <input type="checkbox"/> 土石流 <input type="checkbox"/> 地滑り			
2 土砂災害特別警戒区域の復元方法	<input type="checkbox"/> 公示図面の1/2500区域図により図面上に復元 <input type="checkbox"/> 基礎調査調書の座標を測量図以外の図面上に復元 <input type="checkbox"/> 基礎調査調書の横断面図により図面上に復元 <input type="checkbox"/> 基礎調査調書の座標を現地復元・測量し図面上に復元 <input type="checkbox"/> 基礎調査調書の座標を既存の測量図上に復元 <input type="checkbox"/> その他 ( )			
3 土砂災害特別警戒区域に建築物が含まれるか	<input type="checkbox"/> 含まれる <input type="checkbox"/> 含まれない（2の土砂災害特別警戒区域線の復元は適切に行った。）（→以後4～6は記入不要）			
4 土砂災害対策の方法	<input type="checkbox"/> 建築物本体の外壁等 <input type="checkbox"/> 門又は塀，土留め擁壁等 <input type="checkbox"/> その他 ( )			
5 建築物に作用する土石等の力	移動する土石等		堆積する土石等	
	最大の力の大きさ	kN/m <sup>2</sup>	最大の力の大きさ	kN/m <sup>2</sup>
	高さ	m	高さ	m
5の土砂災害対策の各部材の寸法，鉄筋量の決定方法	<input type="checkbox"/> 平成13年国土交通省告示第383号の仕様規定による <input type="checkbox"/> 構造計算による（限界耐力計算を含む。）			
本申請建築物は、建築主と協議の上、上記により設計し、建築基準法施行令第80条の3の規定に適合するものとなっています。				
設計者 氏名 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号				④ 号 号

- 注 1 この報告に係る土砂災害特別警戒区域の区域図を添付すること。  
 2 この様式1から6までへの記入及び設計者の記入，押印に代えて，建築基準法施行令第80条の3に規定する構造方法への適合性審査に必要な図書（構造詳細図，配筋図，構造計算書等）を添付することでも可とする。この場合は，記入欄全体に斜線をした上で「別添による」と特記し，必要な図書を添付すること。  
 3 不用の文字は，消すこと。  
 4 用紙の大きさは，日本産業規格A列4とする。